事業名	③ 認知症総合支援事業	担当部署	保健福祉部・長寿介護課・包括支援担当
-----	-------------	------	--------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p>【評価○】 ・健康寿命の延伸ならびに家族の負担軽減のため力を入れるべき事業である。</p> <p>・健康寿命の延伸はとても重要であり、「やりがい」や「居場所」等、シニアが輝ける場を今後も引き続き作っていただきたい。</p> <p>・介護は家族の負担がとても大きいため、日常的に頼れる人がいる環境はとても重要である。</p>	<p>・早期発見のためには、受診率向上が不可欠であるので、CATVや各種イベントでの周知活動を強化する必要がある。</p> <p>・地域の行事やイベントの際、一人で簡単にできる記憶カテストのようなものを用意してみてもは。</p> <p>・子どもを使ったポスターの作成・掲示(おじいちゃん、ぼくのこと忘れないでね)。</p> <p>・健康診断のメニューに認知症のテストを加える。</p> <p>・山梨県の認知症家族会が作成している「おかえりマーク」等を利用する際は、認知症登録番号等にしてみては。警察連携して番号を問い合わせる方式にした方が良いと思う。</p> <p>・認知症サポーターを増やすためにも、関係団体や企業、自治会に働きかけてみてはどうか。</p> <p>・不特定多数への周知や講演だけでなく、実際、認知症で相談を受けている家庭や職場にて、効果的な対応等の知識を伝える。</p>	<p>・家族の負担が大きいという部分が重要であり、最悪ダブルケアのようなことにもなりかねないことを考えると、フォローをどのように手厚くしていくかが重要。</p> <p>・こうしたニーズが高まることは喜ばしいことではないが、引き続き様々なところと連携して、市民参加ですすめていかなければならないと思う。</p>
<p>【評価△】 ・認知症または認知症予備軍が6人に1人とされているが、都留市の人口から考えると相談件数が少ないのではないか。また、早期発見率を挙げたいのか、認知症患者の比率を減らしたいのか、今後どうしていきたいかが不明確。</p>		
<p>【課題】 ・高齢者が、自分はまだ大丈夫、もしくは認めたくないとの理由から受診率が向上しないと思われる。</p> <p>・世間体を気にされる家族の協力が得られにくい。</p> <p>・認知症患者だけでなく、ご家族の方へのフォローも重要である。</p>		